2023-4-18

中国地方・奈良・京都～さくら巡り～その 6(京都- 2)

山本 雅晴

4 月 4 日：前日の夕方に京都駅の市の開花状況インフォ・センターで確認したところ、仁和寺の遅咲き桜が急に満開になったという！ 京都駅バス停 7:30 → **仁和寺** 8:20~10:00 (8:30 開場だがすでに 20 人ぐらいが並んでいた）まさに桜は見頃で厚ぼったい花びらの白い桜が朝日に輝いていた。また、重厚な常緑樹の中のところどころにそそとしたピンク色のミツバツツジがコンストラクトよく咲いていた。

写真 1　仁和寺のお室桜と五重塔

写真 2　仁和寺の庭のミツバツツジやシャクナゲ

今年の仁和寺の桜の満開は昨年の 9 日よりも 5 日早かった。仁和寺を退出するころにはかなり混んでいた。仁和寺からわらじ天神にバスで行きそこから**原谷苑へ** 10:30~13:00 (原谷苑は個人が自分の丘状の土地に数十年かけて、各種の桜・花桃・雪柳・山吹・レンギョウ・ボケなどをかなりランダムに植えて育てた。地域の人と共同で花見のシーズン入場料を取って運営している。福島市の花見山と似ている）今は京都のさくら所としても有名で観桜客も多くなっている。昨年初めて来たが、今年は開花のタイミングよろしく大勢の観光客が来ていた。快晴でピンク・白・黄色・赤・若葉の緑が渾然一体となりまさに桃源郷にいるようだった。

写真 3　原谷苑の紅八重しだれ桜・山吹・ボケなど

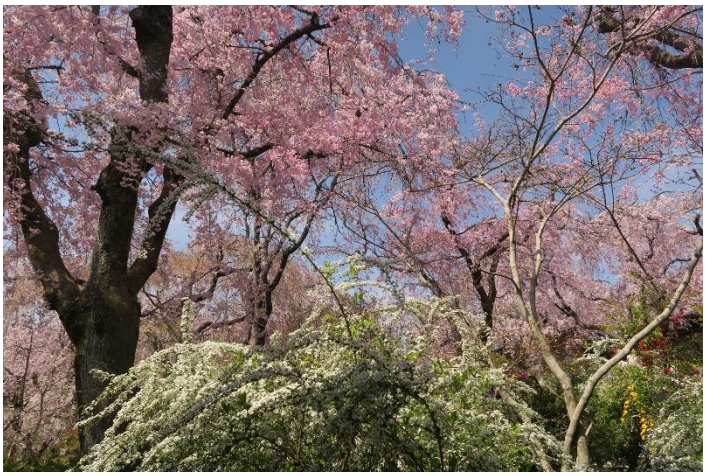

写真 4　原谷苑の紅八重しだれ桜・ゆきやなぎ

ここは神社やお寺の設計された庭園と異って、庶民の庭という感じで、茣蓙か蓆を敷いて寝っ転がって見るか、焼鳥でもかじって缶ビールでも飲むにふさわしい！ そうすればなお一層庶民の桃源郷を満喫できよう！このように気軽に自然な花園を楽しみ、次の目的地に向かった。

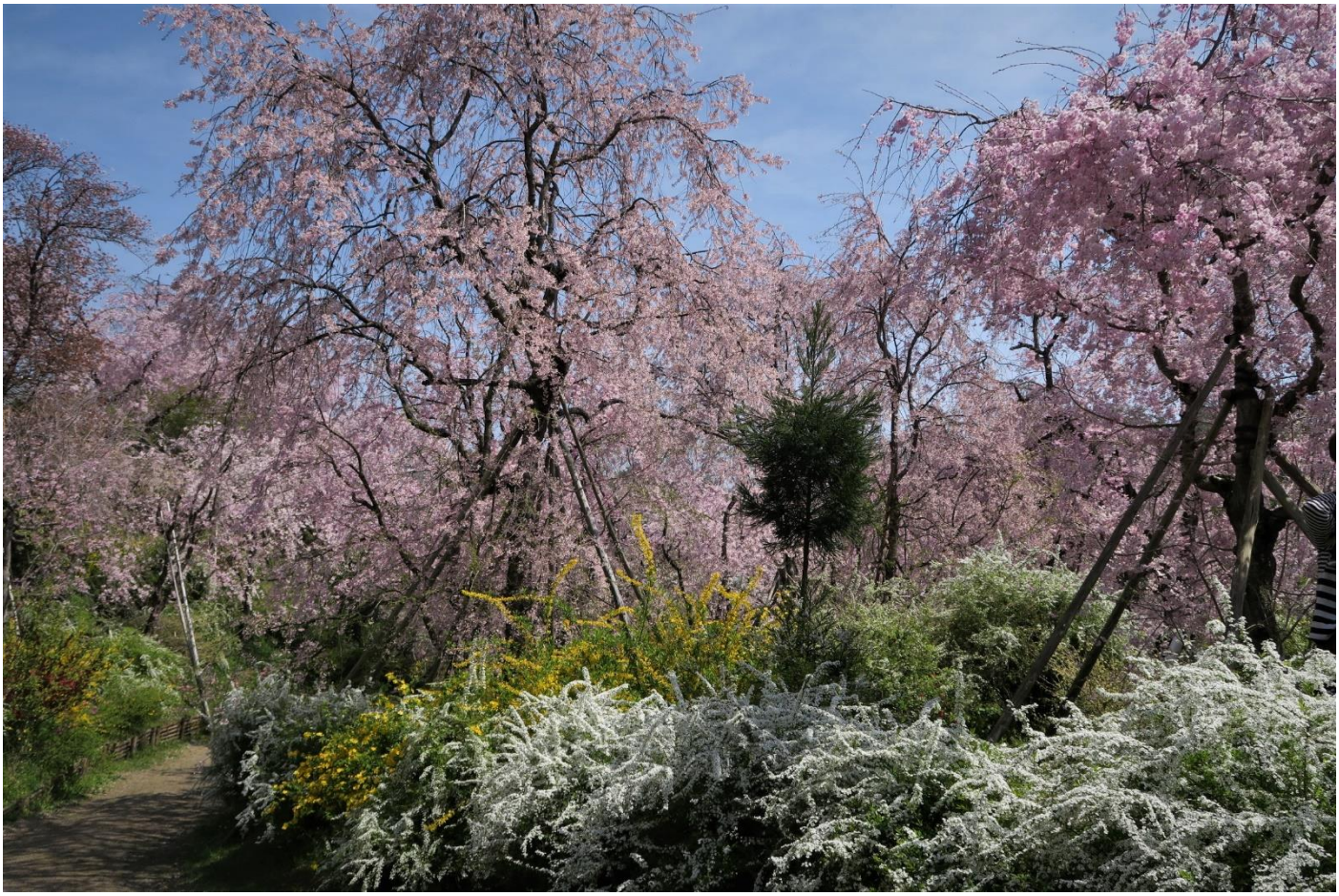

写真５　原谷苑の典型的なワン・ショット：紅八重しだれ桜・ゆきやなぎ・やまぶき

→ **平安神宮** 13:30~15:50 過去に何回か桜の季節に来たことがあり、ライト・アップされた神苑での“紅しだれコンサート”を鑑賞したこともある。今回は快晴で紅八重枝垂れが見頃の真昼に来て、じっくり楽しめた。

写真６ 平安神宮・神苑の紅八重しだれ桜(細雪に描写)

写真７　平安神宮神苑の紅八重しだれ桜と池・橋殿

神苑に入ったところに谷崎潤一郎の小説「細雪」で四姉妹が着飾って京都の花見の最後に訪れることにしていた神苑の「紅八重枝垂れ桜」と立て看板。昨年京都の桜を見て感想を鈴木直久さんに送付した時、「細雪」に記述されていることを聞き、文庫本を買って拾い読みした。この神苑については庭園のいろいろの場所についてかなり細かく表現されている。この庭園の設計者は有名な造園家の小川治兵衛で「臥龍橋」なども記述されている。昔来たときはこの橋も渡ったことがあるが今は禁止されていた。

今日は快晴で３か所の見頃の桜を満喫でき大いに満足できた。